

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化に加え複合的な生活課題が山積する状況ではあるが、地域住民による主体的な見守り活動や支援が継続して行われている。絶対的なマンパワーの不足が顕著であり、高い専門性に基づく支援展開を図るために、様々な専門機関と連携を深め、より一層の福祉施策の拡充を目指す。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
	■	5職種が、各事業において地域住民から寄せられる要望や、民生委員との連絡会などで出される意見、相談事例から抽出される課題などの情報を、部門ごとのミーティングや定例会議で集約する。集約した地域課題の解決のための方策を、関係機関とのカンファレンスや地域ケア会議などによって検討していく。また事業の企画に活用していく。
	■	コロナ禍等で活動が減っていた地域福祉保健計画の上白根地区計画の活動を、再度仕切り直しをし、区の支援チームと連携を取りながら、支えあい連絡会を開催し、計画が的確に実行出来るよう地域住民に周知していく。
	■	世帯全体への支援が効果的に実施できるよう、H30年度から実施している定例カンファレンス（高齢+障がい+α）にて事例検討や地域課題の共有を行い、支援者ネットワークの維持を図る。既存の制度では対応できていない課題について明確化していく。
	■	住民のニーズに合致した新たな行事やセミナーを主催することで、ケアプラザ利用者の増加を図るとともに、ボランティアや認知症サポーターの養成講座を住民向けに開催し、地域における福祉保健活動への意識向上と、新たな担い手の発掘に努める。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

各事業での住民からの要望や、民生委員との懇談会・連絡会で出された課題に基づき「介護保険制度説明会」「介護保険施設説明会」「施設見学会」「スマホ講座」等の企画に生かすことができた。独居高齢者からは「身寄りがなく将来が不安」「葬儀や墓じまいについて知りたい」との要望があり、来年度の企画で実現したい。身元保証・財産保全など身上監護や金銭管理の担い手がいないという従来からの課題については、2月の包括レベル地域ケア会議で検討予定。

コロナ禍等で活動及び開催ができなかった地域福祉保健計画の委員会活動に対して、支援チームとして開催に向けた支援を行い、委員会活動が動きだしたことが収穫だった。支えあい連絡会においても、活動報告をすることができた。これにより次の活動に繋がった。

定例カンファレンスや事例検討の開催により、地域課題（精神保健福祉的課題が多い、身寄りのない方への家族代わりの支援を要することが多いなど）を再確認した。相談日計表で統計を出した（設定した任意項目「家族等の身寄りがいない」「家族等にも専門的支援を要する」）が、相談の延べ件数で把握するところにとどまった。支援者ネットワークの維持はできたと思われるが、今後も障害・児童の分野に関して相談できる体制を維持することで、世帯全体の支援が効果的に実施できるようにしたい。また既存の制度利用では解決しがたい現状（身元保証人依頼は経済的に困難など）に関して、他の自治体や社協の取り組みを参考に地域ケア会議で再度取り上げる予定。

地域住民の要望により、新たに開始した『ゆるっとウォーキング』は、月1回の定例開催で、近隣の公園をテーマを持って歩くことで好評を得ている。口コミで増えた参加者の中には、これまでケアプラザの事業に参加したことのない方もおられ、他の介護予防事業への参加に繋がりが、参加者同士での新たな交流が増えている。また、認知症サポーター養成講座は旭区ひまわりの会と共催したことにより、新たな連携が始まった。昨年シニアボランティアポイント登録講座に参加した地域住民は、今年度ボランティアを開始し、定期的にケアプラザのデイサービスを訪れている。

区からのコメント

・日頃から地域との連携により状況に応じた柔軟な対応をされています。引き続き所内の情報共有を綿密に行っていただくとともに、関係機関との連携を図りながら地域支援に努めていただくようお願いします。  
 ・今年度の地域ケア会議で取り上げた「身元保証人のいない方への支援」については、このエリアで長きに渡り論じられている問題ではありますが、なかなか解決の糸口もつかめていません。解決策がない中で、同様の課題を持つエリアの先事例などを参考にしながら、地域として何が出来るかを考えていくことは有益です。今年度得られた会議の成果を足掛かりとし、この先も課題解決に向けて地域支援を実施されて行かれることを期待しています。

# 令和5年度横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思で必要な社会資源やサービスを選び、決められるように支援する。できる限りの情報提供を行い、選択し自己決定できるよう最大限に配慮をする。	事故防止及び個人情報保護に関する研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。特に個人情報の取り扱いについて、個人情報が含まれた文書をやむを得ずFAX送信する場合は、マニュアルに沿って、チェックシートを運用し、漏えい事故防止を図る。
実績	住民や利用者が主体的に必要な社会資源・サービスを選択できるよう、情報提供に努めた。特にインフォーマルサービスに関する情報提供に力点を置いて行なった。	個人情報保護に関する職員研修を実施した。またFAX送信する場合のダブルチェックの徹底、個人情報持ち出しファイルの見直しを図り、事故防止に努めた。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。	地域の方々が生み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、持てる能力を發揮するかたちで自立した生活を営む事ができるよう計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	保健師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防プランナー3名(専従1名、兼務2名)	ケアマネジャー4名(うち管理者兼務1名、介護予防プランナー兼務2名)
契約者数	133件	1148件

## 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:00～16:10 【定員】30名【通所介護】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額

<p>利用 料金</p>	<p><b>【通所介護】</b>  ●1割負担分(7-8時間)1回分  要介護1:713円 要介護2:829円  要介護3:961円 要介護4:1,091円  要 介護5:1,224円  ●その他利用料(1回分)  入浴介助加算Ⅰ:43円 中重度者  ケア体制加算:48円 若年性認知  症利用者受入加算:64円 サービス  提供体制加算Ⅱ:19円 食費:  750円 紙パット・紙パンツ50~100  円  <b>【第1号】</b>  ●1割負担分(7-8時間)1ヶ月分  要支援1:1,792円 要支援2(週1  回):1,792円 要支援2(週2回):  3,674円  ●その他利用料(1ヶ月分)  サービス提供体制加算Ⅱ(週1回:  77円、週2回:154円)  ●その他利用料(1回分)  食費:750円 紙パット・紙パンツ50  ~100円</p>	<p><b>【その他料金】</b></p>	<p><b>【その他料金】</b></p>
<p>職員 体制</p>	<p>管理者兼相談員1名 相談員1名  看護師4名 介護士14名  厨房4名 ドライバー1名</p>		
<p>契約 者数 等</p>	<p><b>【延べ利用者数】</b>9,215  <b>【契約者数】</b>28</p>	<p><b>【延べ利用者数】</b>  <b>【契約者数】</b></p>	<p><b>【延べ利用者数】</b>  <b>【契約者数】</b></p>

令和5年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,092,440	3,692,613	19,785,053	19,785,053	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）		20,500	20,500	20,500	0	
雑入	0	2,255	2,255	2,255	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他		2,255	2,255	2,255	0	
その他	4,046,000		4,046,000	4,046,000	0	
収入合計	20,138,440	3,715,368	23,853,808	23,853,808	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,816,440	0	11,816,440	12,629,293	△ 812,853	
本俸	8,000,000		8,000,000	8,836,697	△ 836,697	
社会保険料	1,500,000		1,500,000	1,135,427	364,573	
手当計	2,000,000		2,000,000	1,748,987	251,013	
健康診断費	10,000		10,000	540,805	△ 530,805	
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000	0	100,000	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	163,363	△ 63,363	
その他	106,440		106,440	204,014	△ 97,574	
事務費	2,045,000	0	2,045,000	847,864	1,197,136	
旅費	20,000		20,000	8,458	11,542	
消耗品費	500,000		500,000	137,622	362,378	
会議備い費	20,000		20,000	9,020	10,980	
印刷製本費	200,000		200,000	137,691	62,309	
通信費	300,000		300,000	382,873	△ 82,873	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	500,000		500,000	79,200	420,800	
図書購入費	30,000		30,000	0	30,000	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	100,000		100,000	4,916	95,084	
振込手数料	3,000		3,000	1,320	1,680	
リース料	20,000		20,000	16,796	3,204	
手数料	1,000		1,000	440	560	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	351,000		351,000	69,528	281,472	
事業費	550,000	0	550,000	298,296	251,704	
運営協議会経費	10,000		10,000	0	10,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	540,000		540,000	298,296	241,704	
その他	0		0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0		0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0		0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0		0	0	0	
管理費	5,253,000	0	5,253,000	4,633,242	619,758	
光熱水費	4,450,000		4,450,000	3,578,548	871,452	
清掃費	35,000		35,000	22,532	12,468	
機械警備費	180,000		180,000	175,191	4,809	
設備保全費	580,000	0	580,000	549,321	30,679	
空調衛生設備保守	500,000		500,000	473,015	26,985	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	29,199	801	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	50,000		50,000	47,107	2,893	
共益費	0		0	0	0	
その他	8,000		8,000	307,650	△ 299,650	
修繕費	474,000	3,692,613	4,166,613	4,166,613	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	20,138,440	3,692,613	23,831,053	22,575,308	1,255,745	
差引	0	22,755	22,755	1,278,500	△ 1,255,745	

自主事業費 収入	0	20,500	20,500	20,500	0
自主事業費 支出	540,000	0	540,000	298,296	241,704
自主事業 収支	△ 540,000	20,500	△ 519,500	△ 277,796	△ 241,704

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,132,265	0	24,132,265	24,132,265	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,868,500		5,868,500	5,868,500	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	290,000		290,000	290,000	0	
収入合計	30,444,765	0	30,444,765	30,444,765	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,181,765	0	24,181,765	27,652,737	△ 3,470,972	
本俸	14,500,000		14,500,000	15,498,413	△ 998,413	
社会保険料	4,000,000		4,000,000	2,600,882	1,399,118	
手当計	5,500,000		5,500,000	7,330,178	△ 1,830,178	
健康診断費	0		0	1,263,976	△ 1,263,976	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	642,247	△ 542,247	
その他	81,765		81,765	317,041	△ 235,276	
事務費	3,402,000	0	3,402,000	804,684	2,597,316	
旅費	100,000		100,000	18,540	81,460	
消耗品費	500,000		500,000	69,966	430,034	
会議滞在費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	300,000		300,000	167,175	132,825	
通信費	100,000		100,000	63,448	36,552	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	800,000		800,000	284,800	515,200	
図書購入費	100,000		100,000	0	100,000	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	500,000		500,000	49,843	450,157	
振込手数料	2,000		2,000	880	1,120	
リース料	40,000		40,000	0	40,000	
手数料	100,000		100,000	11,000	89,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	850,000		850,000	139,032	710,968	
事業費	1,256,000	0	1,256,000	625,146	630,854	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	352,000		352,000	9,290	342,710	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000	20,856	99,144	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,479,000	0	1,479,000	1,231,617	247,383	
光熱水費	1,260,000		1,260,000	951,259	308,741	
清掃費	10,000		10,000	5,989	4,011	
機械警備費	50,000		50,000	46,569	3,431	
設備保全費	153,000	0	153,000	146,020	6,980	
空調衛生設備保守	130,000		130,000	125,737	4,263	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	7,761	2,239	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	13,000		13,000	12,522	478	
共益費	0		0	0	0	
その他	6,000		6,000	81,780	△ 75,780	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	30,444,765	0	30,444,765	30,440,184	4,581	
差引	0	0	0	4,581	△ 4,581	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	626,000	0	626,000	184,146	441,854	
自主事業 収支	△ 626,000	0	△ 626,000	△ 184,146	△ 441,854	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,000	2,805	1,195	7,000	5,611	1,389	14,000	16,322	-2,322	100,000	94,132	5,868	14,000	3,781	10,219
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
<b>収入合計(A)</b>		4,000	2,805	1,195	7,000	5,611	1,389	14,000	16,322	-2,322	100,000	94,132	5,868	14,000	3,781	10,219
支出	人件費	1,800	1,059	741	3,500	2,218	1,282	13,000	14,340	-1,340	60,000	79,880	-19,880	10,000	4,204	5,796
	事務費	60	100	-40	110	100	10	500	343	157	10,000	10,008	-8	1,500	5,267	-3,767
	事業費	80	100	-20	150	200	-50	500	11	489	15,000	17,792	-2,792	2,500	936	1,564
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0	0
	その他	2,060	1,546	514	3,240	3,093	147	0	0	0	5,000	0	5,000	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,500	1,546	-46	2,200	3,093	-893	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	560	0	560	1,040	0	1,040	0	0	0	5,000	0	5,000	0	0	0
<b>支出合計(B)</b>		4,000	2,805	1,195	7,000	5,611	1,389	14,000	14,694	-694	100,000	107,680	-7,680	14,000	10,407	3,593
<b>収支 (A)-(B)</b>		0	0	0	0	0	0	0	1,628	-1,628	0	-13,548	13,548	0	-6,626	6,626

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ひかりが丘介護者のつどい銀俱樂部	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者同士で、日ごろの介護にまつわる苦労や疑問等を相談・話し合い、息抜きやストレス解消、介護負担の軽減になるような場所づくり。	5:地域		西ひかりが丘商店街の喫茶クラブにて、介護者・包括職員とでサロン形式で雑談した。 毎月第二金曜日 14時～15時	10	41
2	団地内民生委員懇談会	平成22年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。	5:地域		市営・UR団地の民生・児童委員と地域交流、包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行った。旭区高齢障害支援課の地区担当が参加することもあった。勉強会の内容によっては外部講師を招くこともあった。 ・毎月第2金曜日	9	105
3	団地外民生委員懇談会(上白根民生委員連絡会)	平成22年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	上白根町のうち、中原街道北側地区戸建てエリア担当民生委員との、情報交換実施による連携強化。	5:地域		市営・UR団地外の上白根地区担当の民生・児童委員(2委員)との情報交換や地域課題についての相談・検討の実施。連携・協力体制の強化を行った。 ・9月21日実施	1	13
4	ユマニチュードDVD上映会	令和元年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症普及啓発事業の一つとして実施。地域住民に認知症の方への対応の仕方、ケアの技術を伝え、介護者負担の軽減、認知症の方の地域での見守りに資することを目的とする。	5:地域		NHKより無償提供されたDVD「ユマニチュード」全三巻を上映する予定だったが、実施できなかった。	0	0
5	特殊詐欺啓発活動	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	多発しているオレオレ詐欺や還付金詐欺をはじめとする特殊詐欺の注意喚起、情報を提供し地域の高齢者へ注意喚起を行い被害の発生を未然に防いでいく。	1:高齢者	5	地域の高齢者の方を対象に、特殊詐欺の内容をメインに「あさひかわら版」の内容や警察からの緊急情報等の周知を行った。	1	12
6	認知症普及啓発「世界アルツハイマー月間」	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	アルツハイマーデーに合わせ、認知症に関する知識の普及啓発を実施し、認知症高齢者等への理解を得て、地域での見守りが効果的になされるようになる。	5:地域	1	・世界アルツハイマー月間を中心に、館内でのぼり(区役所から貸与)資料等の掲示した。(9月1日～30日)	1	23
7	「わたしの『もしも手帳作り』」	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	横浜市の「もしも手帳」を普及するために、「私の『もしも手帳』作り」として、「もしも手帳」を挟んでいるおくり手帳カバーをデコレーションして、自分用にカスタマイズする。終活の一環として、「もしも」の時に考えておくこと、連絡先を携帯することの重要性を伝える。	1:高齢者	5	地域住民のサロンや介護予防教室を実施。今年度は西ひかりが丘団地の住民サロン「つどい」でももしも手帳作りを計画したが中止となった。	0	0
8	シニアライフセミナー	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢期を迎えた本人または家族、支援者が終末期に向けてよい準備ができるように情報提供をする。安心して高齢期を過ごし、本人も家族も満足した形で人生の最期を迎えられることを目指す。	1:高齢者	5	第1回目は田中司法書士を迎えてエンディングノートを紹介しながらノートに沿って終末期に必要な制度の紹介、説明を行い、必要時個別相談につないだ。(R5年5月13日、12月1日)	2	36
9	司法書士個別相談会	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢期の相続、成年後見等の法的門檻に関して司法書士に個別に無料相談できる機会を作る。	1:高齢者	5	田中司法書士事務所 田中司法書士を招いて相談会を実施。R5年7月から奇数月第2土曜日午前中に1ケース30分4件まで10時～12時の時間を確保した。。(R5年7月8日、11月11日)	2	5
10	熱中症予防出張講座	令和5年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	熱中症患者の増える夏季に向けて、地域高齢者が実践できる予防策を周知することで当事者意識を高め、正しい対処方法を学ぶことにより熱中症罹患を予防する。	1:高齢者	5	既存である大人の遊びバピバの場を活用することで、集客が期待でき、また普段からコミュニティに参加して身体を動かしている層に、物理療法のみならずアプローチをかけることが出来た。(R5年6月28日)	1	15
11	GoGo健康体操	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防普及強化事業として、講師による健康体操指導を年24回開催	1:高齢者	5	地域の高齢者を対象に専門講師による体操指導や講話を通して、参加者の介護予防・認知症予防を図った。(毎月第1金曜、第4木曜日)	24	446
12	GOGO健康体操 口腔ケア講座	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が口腔ケアの知識を得ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者	5	GOGO健康体操に続けて口腔ケア講座をおこなうことで集客出来た。また体操と口腔衛生の両面からアプローチをかけることが出来た。(R5年10月6日、10月26日)	2	16
13	GOGO健康体操 栄養講座	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスのとれた食事を摂ることに要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者	5	GOGO健康体操に続けて栄養教室をおこなうことで集客が出来、体操と栄養指導の両面からアプローチをかけることが出来た。	2	38
14	URハマトレ体操	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1:高齢者	5	URハマトレ教室を主宰している保健活動委員の吉田様より依頼あり、共同事業としている。ハマトレの映像を見ながら体操を行った。年4回程度栄養教室や体力測定などの講座を組み込んだ。(毎月第4木曜日)	12	134
15	URハマトレ栄養教室	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスの取れた食事を摂ることに要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者	5	URハマトレ体操に続けて栄養教室をおこなうことで集客が出来た。また体操と栄養面の両面からアプローチをかけることで相乗効果があった。URハマトレ教室を主催している保健活動推進員より依頼があり共同事業としている。(R5年8月28日)	1	13



■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	URハマトレ体力測定	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いを見守りへと繋がっていく。	1:高齢者		URハマトレ体操の時間で体力測定を行うことで集客を出来、スポーツ協会から講師を呼ぶことで専門的な知識からのアプローチができ、意識の向上などの相乗効果が狙えた。URハマトレ教室を主催している保健活動推進員より依頼があり共同事業としている。(R5年11月27日)	1	10
17	UR健康測定会	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で通いの場となっている公民館集会所で健康測定会を実施し集客を図る。筋力低下予防のために現在の自身の状態を知る機会とする。顔見知りが増えることで、日常的に会話が增えたりお互いを見守りへと繋がっていく。	1:高齢者		身近で気軽に立ち寄ることのできる集会所で体力測定をおこなうことで集客が出来、旭区健康づくり係から専門の測定機器を借用し、体力を可視化することで強み・弱みを知ることにより、意識の向上などが出来た。URでの住民支援をしているアドバイザーより依頼があり共同事業としている。(R5年6月5日)	1	18
18	URハマトレ体操 体操指導	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が增えたりお互いを見守りへと繋がっていく。	1:高齢者		定期的に体操をする習慣となっているURハマトレ体操の時間に、外部講師を呼び、指導を受けることで専門的な知識からのアプローチができ、意識の向上などの相乗効果を狙う。(R6年1月22日)	1	12
19	ひだまり	平成20年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者を対象にした介護予防サロン。健康講話、体操や合唱、脳トレを行いつつ、季節ごとの簡単な工作やテストによるプログラムを通して、外出・社会参加の場とする。	1:高齢者		月に2回のサロンとして、第2水曜日は太極拳と大正琴による伴奏の合唱、脳トレを行い、第4水曜日は健康体操とピアノ伴奏による合唱、脳トレを行っている。毎回、包括保健師による健康講話を行い。年に数回、朗読劇や紙芝居などのボランティアを招くことが出来た。	21	601
20	にこにこ会	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	精神障害の方の居場所作り		2:障害児・者	会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与、旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと「共に歩む市民の会」と情報を共有した。 ・毎月第4火曜日	10	54
21	ひかりの会	平成18年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	脳血管障害による言語障害の方のための親睦サロン。		2:障害児・者	月に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行うサロン活動を行った。 ・毎月第4火曜日	12	69
22	子どもの工作あそびクラブ	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の小学生3-6年生を対象に、様々なおもちゃ工作を通じて、創造して遊ぶ科学的興味を育てる。	4:子ども・青少年		講師に青少年指導員の磯野さんを招き、紙ヒコキ作り、トリックアートづくりなどの工作を指導して頂いた。春・冬2回開催 (R5年5月28日、R6年1月7日)	2	13
23	古典を学ぶ会	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通じて、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。	1:高齢者		講師のご住職の方による、今年度は引続き教養叢書の購読などを行った。 ・毎月第4木曜日	10	40
24	囲碁教室	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所作りを目指している。		2:障害児・者	外出することが苦手な高齢男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とした。ボランティアは福祉囲碁協会。 ・毎月第1・3木曜日、第2・4水曜日	24	253
25	夏休み子どもクラブ	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(ダンス教室、クッキー教室、美術教室など)で恒例となっている。	4:子ども・青少年		まじあと&こーたんによる美術教室、ヒップホップダンスのラルフさんによるダンス教室、カブカブさんのクッキー教室、キルトママさんによる手芸教室を行った。(R5年8月2日、8月3日、8月15日、8月25日)	4	63
26	歌謡体操	平成25年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。		5:地域	カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に利用し、歌いながら体を動かしていけるよう、また、ライブDAMだけに捉われず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者に自ら選択してメニューを組み立てていく自主性のきっかけとしていただく事業を行った。 ・毎月第1・3月曜日	24	238
27	みんなの庭	平成26年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。		5:地域	ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花の植え替えと維持管理に子どもから高齢者までの地域の方々に参加していただいた。(R5年5月15日・22日、6月19日、9月10日、11月10日・14日)	6	67
28	楽しく健康！健康マージャン	平成29年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。	1:高齢者		麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。 ・毎月第4金曜日	12	51
29	大人の料理倶楽部	平成29年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。		5:地域	コロナの影響等により開催無し。	0	0



■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	助け合いが当たり前プロジェクト	令和元年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	「よこはまシニアボランティアポイント」を通じて、高齢者が地域の介護施設等で活動する事で、ご自身の介護予防・社会参加を通じて「生きがい作り」を促進する為。また、ボランティア(支え合い)への理解を深める事で、地域共生社会へ向けての基盤を作る。	1:高齢者	5	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を行った。(R6年3月11日)	1	5
31	サンセット会	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域にお住まいの精神障害者の居場所づくり(にこにこ会とは異なる時間帯に設定)を行い、新たなボランティアを発掘する。	2:障害児・者	5	障がい当事者がボランティアと一緒に食事を作り食べるサロン。 隔月1回(R5年7月27日、9月6日、R6年1月31日)	3	15
32	ゆるっとウォーキングの会	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりがちな男性などの外出のきっかけづくり。近隣の公園やウォーキングコースを散歩することで、季節の変化を意識しながら、健康維持のための体力向上をねらいとする。	1:高齢者	5	準備体操後、近隣の公園等へウォーキングし、周囲の自然探求をしながら交流を深める。年3回程度の遠出を参加者が企画し、その相談を含めて会の運営をみんなで行うように進めていく。雨天時は多目的ホールで体操のあと、次回のウォーキングコース相談や地域の地理や歴史などをプロジェクターを使ってYouTubeで鑑賞する時間とした。毎月第2土曜日	10	224
33	あさひくんとアソボ体操による世代間交流	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ひかりが丘保育園の園児と一緒に、新たに作成された「あさひくんとアソボ体操」を地域の高齢者と一緒に行い、世代間交流を行う機会とする。地域の高齢者と幼児がイベントをきっかけにあいさつができるように、地域計画の一つである「あいさつ活動」に繋げる。	1:高齢者	5	新しい体操である「あさひくんとアソボ体操」をYouTube動画等をもとに、ケアプラザで地域の高齢者を対象に練習を行い、後日、保育園と日程を調整して園庭を訪ね、練習会参加者と園児と一緒に体操を行うイベントを開催した。(R5年9月11日、10月31日)	2	84
34	ひかり福祉フェスタ	令和元年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすい狙い。	6:事業者	5	地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。一緒にイベントを行うことで、連携を深めることが出来た。ひかりが丘健康広場フェスタとして部分開催した。(R5年11月19日)	1	57
35	食品衛生講習会	令和元年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解していただく。	5:地域	5	日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。・年1回(7月19日)	1	9
36	地域貢献デー	令和元年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場とする。	4:子ども・青少年	5	地域の県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場となる事が出来た。(R5年9月5日)	1	27
37	ボランティア講演会	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の県立高校で開催されるボランティア講演会に出席して、ケアプラザの働きを紹介し、上白根「地区」においてボランティアの啓発及び発掘を行う。	4:子ども・青少年	5	横浜旭陵高校で毎年3月に開催されるボランティア講演会でのケアプラザの活動紹介とボランティア団体の紹介を行い、先生と連携を取りつつ、地域でのボランティア活動への生徒を繋ぐことが出来た。(R6年3月8日)	1	200
38	四季の森小4年生 総合学習	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	四季の森小4年生の総合学習に沿って、地域にあるケアプラザを利用している住民との多世代交流を行う	4:子ども・青少年	5	学校側の都合により開催無し。	0	0
39	四季の森小2年生のまたんけん授業	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	四季の森小2年生の総合学習に沿って、地域にあるケアプラザの役割を知らせ、利用している住民との交流を繋げる。	4:子ども・青少年	5	児童たちからケアプラザに対する質問を受け回答。またケアプラザ利用の地域住民との交流の場を作った。(R5年6月15日)	1	19
40	いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるプロジェクト	平成17年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	「地域共生社会」に向け、「誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らす」この目標に対し日本全体で課題になっている高齢化に伴い、認知症の方々と地域が関わる事が多くなっている。認知症サポーター養成講座を受講して頂く事で、認知症への理解を深め、気付き、関係機関と連携できる体制整備を進める。	5:地域	1	認知症サポーター養成講座を一回行うことが出来た。(R5年6月10日)	1	18
41	ひかり卓球部	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者に無理なく行える運動として卓球を楽しんでいただくことで、体力の維持を図る。また交流や仲間づくりの場としても機能することで、広く地域福祉に貢献する。	1:高齢者	5	卓球ゲーム(5分または10分毎の交代)と参加者同士の懇談を行うことが出来た。(毎月第2・4金曜日)	22	220
42	オトナの遊ビバ・学ビバ	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	昔遊び倶楽部を自主事業に戻し、内容を新たにスタートさせる。従来の制作活動も残しつつ、より幅広いプログラムで、高齢者の生活を豊かにする為の遊びと学びの機会を提供し、介護予防につなげる。	1:高齢者	5	月替わりでの企画を立案。包括のとの連携に加え、外部からの出張講座も活用し、高齢者の通いの場を運営。(毎月第4水曜日)	10	159
43	メロディカフェ	令和5年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	ケアプラザで活動している音楽関係の団体に参加していただくことで活動の場を広げ、カブカブさんとのコラボレーションにより、障害のある方とも共生するあたたかい地域の居場所づくりをおこなう。	1:高齢者	2.3.5	上白根地区で活動しているボランティアによる音楽演奏を中心に時宜に合わせたミニイベントを企画し、カブカブと連携を図り交流の機会を設けた。(R5年12月5日)	1	15

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
44	URハマトレ体操 体操指導	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操をすることで筋力の低下を予防する。また、顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたり、お互いの見守りへと繋がっていく。	1:高齢者		定期的に体操をする習慣となっているURハマトレ体操の時間に、近隣の旭中央総合病院から理学療法士を呼び膝関節症の予防体操の指導を受けた。専門的な知識からのアプローチおよび意識の向上などの相乗効果を狙って開催した。R6年1月22日開催。	1	12
45	貸館団体登録説明会	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ貸館利用登録の方法と内容に置いての注意点・留意点を利用団体に理解してもらう。	1:高齢者		ケアプラザ貸館利用の団体登録の説明、利用におけるの注意点・留意点の説明、災害時の避難経路の確認及び、ケアプラザが福祉避難所であることの説明(R6年2月1日、2月14日)	2	20
46	ボランティア交流会	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ボランティアの育成、介護予防普及強化、ボランティア間の交流	5:地域		令和5年度のケアプラザ他でのボランティア活動の紹介及び報告による交流と包括担当看護師による介護予防講話、ボランティア同士によるグループワークによる地域支援の啓発を行った。(R6年3月3日)	1	18
47	みんなで着物を着て写真を撮ろう	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもの居場所作りミーティングの中から、地域に住む見守りが必要な家庭に対して、家族で着物を着て写真を撮る機会を通して、地域の支援者と顔を繋ぐことを目指す。	4:子ども・青少年		着付けボランティアきものっ子さんと市社協、区社協の協力をいただき、ケアプラザで着物を着て家族で写真を撮る機会を作った。(R6年2月25日)	1	22
48	R5年度横浜市旭区障害啓発講演会 サテライト 山口達也さん依存症を語る	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域住民向けの依存症を含めた中途障害への理解と周知を図る。	2:障害児・者		ZOOMによるオンライン開催。山口達也氏による依存症を語る講演会をサテライト開催した。(R6年3月14日)	1	8